

タイヤ交換 技術力PR



タイヤを簡単に交換できる新機種などをアピールする小野谷機工のブース＝1日、東京都江東区の東京ビッグサイト

東京小野谷機工(越前市)が出展

国内最大規模の自動車整備機器実演展示会「第35回オートサービスショー」が1日、

東京都江東区の東京ビッグサイトで始まった。県内からタイヤ関連機器メーカーの小野谷機工(本社越前市家久町)が出展し、最新8機種を含む15機種をアピールしている。3日まで。

オートサービスショーは社団法人・日本自動車機械工具協会が2年に1度開催している。全国から約130企業・団体が参加。期間中、約5万人の来場を見込んでいる。

小野谷機工のブースでは、大型タイヤ投入装置を付け全自動でタイヤ交換できる新モデルなどを展示。ボタン一つで作業ができ、省人化につながる点をアピールした。

また8月に商品化する乗用車用タイヤを交換する汎用タイプも実演。準中型免許で運転できるよう軽量化した「ロードサービスカー」も屋外展示した。

同社の担当者は、タイヤショップやメーカー直営店の担当者らと商談。「業界には人手不足の課題があり、国内唯一のメーカーとして作業環境の向上も提案したい」と話していた。(五十嵐靖尚)